

大阪民衆史研究会報

2024年11月号
第31巻第11号
(通巻350号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

例会等のお知らせ

◇秩父事件 140 周年記念シンポジウム

～秩父事件とは何だったのか～

日時 11月10日(日) 13:30～

会場 埼玉県秩父市 福祉女性会館1F集会室

(西部秩父駅から徒歩6分、埼玉県秩父市野坂町1-13-14 TEL0494-22-1050)

報告1 高島千代さん(本会副会長・関西学院大学教員)

「秩父の人びとは何を考えてきたか」

報告2 吉瀬 総さん(秩父事件顕彰協議会事務局長)

「秩父事件はどう見られてきたか」

その他 長尾敏博さんの「演歌」の演奏も予定しています。

主催 秩父事件研究顕彰協議会 後援 秩父市教育委員会

◇11月例会

日時 11月17日(日) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F桜の間

報告 小松 忠さん(会員・金岡公園ピースメモリークラブ)

「堺にも軍隊があったー金岡連隊をさぐる」

1932年現堺市北区長曾根町に真田山から騎兵連隊移動。後輜重隊・陸軍病院なども移転「軍隊村」となった。戦後はアメリカ進駐軍の病院となり地元の要求で返還された。「終戦直前に毒ガス隊があった」「160cmの塀を越えて逃げるのは簡単だが後がこわい、耐えられず自殺した」「陸軍病院は鬼の金岡・仏の日赤と有名。30棟の病棟で5千人の患者?」「練兵場も患者の芋畑に。小学生が草取り(8月15日午前中も)」など20数人の体験者や地元の人聞き取りと公文書から当時の配置や実態をさぐる。

◇12月例会

日時 12月22日(日) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F蘭の間

報告 中田 進さん(本会会員・勤労者教育協会)

「木津力松さん(本会会員)による『古書店「白雲堂」古家実三日記抄ー兵庫県無産階級運動の歴史的解明』出版にあたって(仮)」(詳細次回会報で紹介)
参加費は会員400円、非会員500円